



Subaru

## 男声合唱団

ニュース№504 '15. 5. 5

5月1日

### 引き続きコンサート第1部の曲の練習を重ねる！

□5月1日(金)の定例レッスンは、佃さんの体操と本並先生のヴォイストレーニングに始まり、4月19日にレッスンしたコンサート第1部の曲の中から、引き続き、本並先生の指揮で「初心のうた」「淀川三十石舟唄」、休憩をはさんで、伊藤副指揮者の指揮で「死んだ男の残したものは」、そして本並指揮で合発曲「春を待つ」「道」をレッスンしました。参加者は全28名でした。(ピアノ伴奏は森二三さん)



□「初心のうた」（木島始作詞・信長貴富作曲）はポピュラーな曲で最近いろんな合唱団が混声や男声合唱で歌っている曲の一つです。

今日の「初心のうた」の練習は「昴」の「初心のうた」を作り上げるために、指揮者の熱の入れようがよく伝わってくるレッスンとなりました。3部での男声合唱曲として、音が響くこと、声の上がり下がりが正確であること、フレーズや小節の言葉が明確で、聴く人にはっきりと伝わること、鼻濁音の徹底、何よりも各パートが正確な音程とリズムと詞でこの曲の曲想と作者の心を理解して歌い上げることで、「昴らしい初心のうた」をと、各パートがそれぞれ繰り返し歌う練習となりました。

#### □運営委員会からの報告

##### (1) 「昴第10回記念コンサート」の特別団員の募集について

40名を目標に“共に歌いましょう”と募集しています。5月17日から練習を開始します。只今22名の方々から応募の連絡が入っています。チラシを配り、お誘いできる方々の名簿を作り、友人・知人・他合唱団のメンバーに参加の呼びかけを！

##### (2) 歌舞劇団「田楽座」の公演に若い年代の子供・孫を連れて観劇を！

5月16日(土) 14:00 開場 15:00 開演 クレオ大阪中央

若い子供たちに普段見れない日本の良き歌と踊りを！

### (3) 「関西合唱団第 80 回定期演奏会」のお知らせ

「関西合唱団第 80 回定期演奏会」のご案内です。（バスの富樫さんから案内を兼ねて連絡がありました。）2015 年 6 月 6 日（土）・6 月 7 日（日） いづみホール

テーマ “どれだけ生きたかっただろう・・ どれだけ愛したかっただろう・・”

今回はメインは、組曲「未来へ」（委嘱作品）として、外山雄三氏作曲の組曲が演奏されます。「自分の感受性くらい」（茨木のり子 詩）、「名のない人たち」「帰ってください」（石川逸子詩）の 3 編の作曲です。関西合唱団の演奏会は毎回、豊富なレパートリーの中から多彩な曲目が演奏されます。案内のチラシをご覧ください。

### (4) 「昂第 5 回団内コンサート」が 8 月 30 日（土）に開催されます。

すでに団員にはご案内していますが、積極的な参加の要請と共に次回の昂レッスン日（5 月 17 日（日））までに「第五回団内コンサートのエントリー用紙」を「団内コンサート世話役」へ提出するよう案内がありました。

(5) 立川事務局長より、うたごえで「大阪都構想反対！」の行動を 5 月 4 日・10 日・16 日の 3 日間行いますので参加しましょう！との呼びかけがありました。1 票を争う投票であること、1 票でも負ければ大阪市は壊され、文化も壊され、住民サービスも壊され、財源のない特別区へ、大阪市が壊されると次は確実に衛星都市も壊されるであろう！こんな「都構想」はあってはならない！ということで、うたごえ（協議会）でも反対の行動をしています。

**東日本大震災＆福島第 1 原発事故・被災者支援チャリティーコンサート「祈り・希望」vol.4  
感動の演奏会・招待合唱団「福島市立福島第一中学校合唱部」の演奏に拍手鳴りやまず！**

5 月 3 日（日）ドーンセンターで「祈り・希望」vol.4 として開催された被災者支援のチャリティコンサートは、会場のホールが満席・立ち見の聴衆もいっぱいで、両端の階段も座る人であふれ、大盛況の熱気に包まれた演奏会となりました。圧巻は招待された「福島市立第一中学校合唱部」の葉室恵子先生の指揮と 11 名のメンバー（10 人の女子生徒と一人の男子生徒）が奏でる 3 曲の会場に響き渡る見事な演奏に聴衆は圧倒され感動の拍手が鳴りやみませんでした。特に 2 曲目の「贈り物アポリネールの詩による 4 つの無伴奏小品作品集「白鳥」より」は、これが中学生の合唱？と絶句するほどの合唱としての完成度・レベルの高さに心が揺さぶられる感動の演奏といえるものでした。

この演奏会のもう一つの特徴は、若い出演者「買掛混声合唱団」とストリートダンスを演じて会場を元気づけた「NDL ALL STAR」（奈良県立奈良高等学校ダンス部）の出演でしょう。ベテランの大人に交じって一歩も引けを取らず堂々と演奏する彼らに拍手を送ります。

